

平成22事業年度

決 算 報 告 書

自：平成22年4月 1日

至：平成23年3月31日

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

# 平成22年度 決算報告書

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	19,220	19,220	0	
補助金等収入	238	1,485	1,247	(注1)
施設整備費補助金	0	4,655	4,655	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	1,364	1,083	△ 280	(注3)
自己収入	190	241	51	(注4)
雑収入	190	241	51	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,615	2,434	△ 180	(注5)
目的積立金取崩	30	0	△ 30	(注6)
計	23,657	29,120	5,462	
支出	0	0	0	
業務費	19,440	18,885	△ 554	(注7)
教育研究経費	19,440	18,885	△ 554	
施設整備費	1,364	5,738	4,374	(注8)
補助金等	238	1,288	1,050	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,615	2,299	△ 315	(注10)
計	23,657	28,212	4,555	
収入-支出		907	907	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階では計上していなかった補助金等を計上したため、予算額に比して決算額が1,247百万円多額となっています。
- (注2) 予算段階では計上していなかった施設整備費補助金を計上したため、予算額に比して決算額が4,655百万円多額となっています。
- (注3) 土地の購入単価の下落により、予算額に比して決算額が280百万円少額となっています。
- (注4) 雑収入については、共同利用施設の利用料収入の増加及び特許料収入の増加等により、予算額に比して決算額が51百万円多額となっています。
- (注5) 予算段階では予定していなかった国からの受託研究の受入額減少等により、予算額に比して決算額が180百万円少額となっています。
- (注6) (注4)に示した理由及び経費の効率的な執行に努めたこと等により、予算段階で予定していた目的積立金取崩を行わなかったため、予算額に比して決算額が30百万円少額となっています。
- (注7) 震災による運営費交付金債務の繰越等により、予算額に比して決算額が554百万円少額となっています。
- (注8) (注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が4,374百万円多額となっています。
- (注9) (注1)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,050百万円多額となっています。
- (注10) (注5)に示した理由により、予算額に比して決算額が315百万円少額となっています。  
また、決算額には前事業年度繰越額として、受託研究費3百万円、共同研究費15百万円、受託事業費0百万円を含んでおります。